

### 宮崎市自然休養村センターの指定管理者候補者の選定について

宮崎市自然休養村センターの指定管理者については、次のとおり候補となる団体を選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、平成29年12月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営にあたることとなります。

#### 1. 指定管理者候補者の概要

(1) 団体の名称	木花・青島活性化プロジェクトJV
(2) 代表者名	代表者 黒木 幹夫
(3) 主たる事務所の所在地	宮崎市大字田吉垣原5276番地
(4) 設立年月日	平成21年9月24日
(5) 設立目的	宮崎市自然休養村センターの管理運営
(6) 従業員数	正社員8名、パート9名、アルバイト7名

#### 【構成員】

(1) 団体等の名称	株式会社 みやざき社中
(2) 代表者名	代表取締役 黒木 幹夫
(3) 主たる事務所の所在地	宮崎市大字田吉垣原5276番地
(4) 設立年月日	平成21年8月24日
(5) 設立目的	次の事業を営むことを目的とする ①各種施設の施設管理及び運営 ②施設機械設備の操作・点検・維持管理 ③貯水槽及び貯湯槽の点検・清掃・維持管理 ④農産物・水産物の販売 ⑤木工品の販売 ⑥食品の製造・加工及び販売 ⑦飲食店の経営 ⑧前各号に付帯関連する一切の事業
(6) 事業概要	①指定管理施設の管理・運営 ②電気・機械設備機器の販売、施工、メンテナンス ③給排水衛生設備の販売、施工、メンテナンス ④エコドライブ推進機器販売、エコドライブ推進事業、野菜パッケージ事業
(7) 資本金又は基本財産	資本金 100万円
(8) 従業員数	正社員6名、パート17名、アルバイト8名

## 【構成員】

- |                |  |
|----------------|--|
| (1) 団体等の名称     | 特定非営利活動法人 宮崎文化本舗   |
| (2) 代表者名       | 代表理事 石田 達也   |
| (3) 主たる事務所の所在地 | 宮崎市橋通東3丁目1番11号   |
| (4) 設立年月日      | 平成12年10月10日  |
| (5) 設立目的       | 文化事業の開催等を通して、宮崎県民の生活文化・芸術に対する意識の向上と定着を図ると共に、県内のボランティア団体のネットワークを構築し、明るく豊かで楽しい社会生活を実現することを目的とする。               |
| (6) 事業概要       | ①文化芸術の振興を目的とした各種イベントの開催<br>②NPO支援及び市民活動相互のネットワークを目的とした講演会等の開催<br>③指定管理者制度による行政施設の管理運営業務<br>④各種市民活動団体の事務局代行業務 |
| (7) 従業員数       | 正社員25名、パート・アルバイト16名  |

## 2. 指定期間（予定）

平成30年4月1日から平成35年3月31日まで

## 3. 施設及び業務の概要

### (1) 施設概要

#### ① 施設名

宮崎市自然休養村センター

#### ② 所在地

宮崎市大字加江田6896番地

#### ③ 施設規模等

敷地面積 21,504平方メートル

延べ床面積 1,654平方メートル

### (2) 業務概要

- ① 自然休養村の案内に関すること
- ② 地域の特産品の紹介に関すること
- ③ 施設の提供に関すること
- ④ その他市長が必要と認める事業
- ⑤ 施設の使用の許可に関する業務
- ⑥ 施設の利用に係る料金に関する業務
- ⑦ 施設、附属設備及び備品の維持管理に関する業務
- ⑧ その他の休養村センターの設置目的を達成するために必要な業務

### (3) 現在の管理方法

指定管理者 木花・青島活性化プロジェクトJV

平成27年4月1日から平成30年3月31日まで

## 4. 事業計画の概要

### (1) 管理運営の基本姿勢

- ・当該施設実績と管理運営ノウハウを継続的に発展。
- ・多様化するニーズへの対応及び良質なサービスを提供し、地域の活性化に役立つ。

### (2) 利用者サービスの向上に関する提案

- ・可能な限り利用者ニーズに応じたサービスの向上
- ・PDCAサイクルによるサービスの継続的な改善・向上

### (3) 利用者の増加を図るための取り組みに関する提案

- ・新規利用者の開拓
- ・リピーターの確保
- ・利用低迷要因の改善

### (4) 利用者サービスの向上に関する提案

- ・可能な限り利用者ニーズに応じたサービスの向上
- ・PDCAサイクルによるサービスの継続的な改善・向上

### (5) 設置目的に沿って施設の効用を最大限に発揮できる提案

- ・地域魅力の発信（子供の自然体験支援）
- ・地域住民の交流（イベント等の開催による施設の活性化）
- ・地域特産品・農産加工品の販売、PR

### (6) 利用者の安全面の対応

- ・レジオネラ属菌への対応（作業マニュアルに沿った清掃・消毒の徹底）
- ・食中毒への対策（作業マニュアルに沿った衛生管理の実施）

※ 上記の事業計画は、あくまで指定管理者候補者から選定に当たり示された内容であり、実際に行う事業の計画は、指定後に市と当該団体との間で協議の上、決定します。

## 5. 収支計画の概要

### ■ 収入

(単位：千円)

項目	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	5カ年合計
指定管理料	19,961	19,961	19,961	19,961	19,961	99,805
利用料金	31,935	33,098	34,292	35,195	36,140	170,660
自主事業他	42,152	42,505	42,859	42,859	42,859	213,234
収入合計	94,048	95,564	97,112	98,015	98,960	483,699

### ■ 支出

(単位：千円)

項目	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	5カ年合計
人件費	40,783	41,490	41,909	42,330	42,755	209,267
光熱水費	10,185	10,486	10,692	11,000	11,211	53,574
管理費	39,250	40,004	40,313	40,625	40,940	201,132
施設維持費	2,468	2,468	2,468	2,468	2,468	12,340
温泉維持費等	856	856	856	856	856	4,280
その他	500	500	500	500	500	2,500
支出合計	94,042	95,804	96,738	97,779	98,730	483,093

### ■ 収益

- ・ 指定管理料の削減（平成29年度予算比 20,213千円（1.3%）削減）
- ・ 利用料金収入の増加（平成28年度実績比 32,170千円（6.1%）増加）

※ 上記の収支計画は、現行の消費税率に基づき、指定管理者候補者から選定に当たり示された内容であり、最終的な収支計画（指定管理料を含む。）は、指定後に市と当該団体との間で協議の上、指定管理業務の期間に応じて適用される消費税率に基づいて決定します。

### ■ 参考

#### 【平成28年度管理運営費収支決算】

[収入] 計93,735千円

- ・ 指定管理料19,158千円・利用料金32,169千円・自主事業42,408千円

[支出] 計94,755千円

- ・ 人件費45,453千円・光熱水費10,168千円・維持管理費（施設維持・温泉施設維持・保守点検）5,370千円ほか

※上記は、指定管理者からの事業報告に基づき、市の指定管理料積算項目に再配分したものです。

【平成28年度事業実績（主なもの）】

月	事業名
平成28年7、8月	幼稚園、保育園のお泊り保育
平成28年12月	餅つき大会
平成29年3月	休養村楽市楽座

6. 選定結果の概要

(1) 公募の概況

① 応募団体数

1 団体

② 募集日程

要項及び申請書類様式の配布	平成29年	7月21日～	8月25日
質問の受付	平成29年	8月	7日
質問の回答	平成29年	8月18日～	9月 8日
応募の受付開始	平成29年	8月25日	
応募の受付締切り	平成29年	9月25日	
書類審査及びヒアリング	平成29年	10月10日	

(2) 農政部指定管理者候補者選定委員会

(敬称略)

	役職等
委員長	農政部長
委員	農政部森林水産課長
〃	地域振興部木花地域センター長
〃	宮崎公立大学 准教授
〃	木花地域自治区地域協議会役員
〃	木花地域婦人会役員

(3) 選定の概況

ア 選定理由

農政部指定管理者候補者選定委員会において、申請者からの応募書類及びヒアリングをもとに、「宮崎市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」で定める次の基準により、総合的に審査を行った。

- ① 事業計画書に基づく当該施設の運営が市民の平等な利用を確保するものであること
- ② 事業計画書の内容が当該施設の設置目的を最も効果的に達成するものであること
- ③ 事業計画書の内容が当該施設の管理に係る経費の縮減を図るものであること
- ④ 事業計画書に沿った管理を安定して行うための十分な能力を有しているものであること

これまでの利用者増、サービス向上、及び衛生管理体制の確立等の実績と、事業計画の内容が継続的な充実したサービスの提供や地域振興に貢献できるとして高い評価を得た。

その結果、安心安全の取り組みや地域密着の事業展開などの実施により、高いレベルのサービス提供が期待できることや、地域活性化などの理由から「木花・青島活性化プロジェクト」が候補者として選定された。

それぞれの審査項目について、6名の選定委員で審査を行った結果、当該選定基準に最も適合していると認められたため、当該団体を指定管理者候補者に選定した。

イ 審査結果一覧

	審査項目	配点(満点)	木花・青島活性化プロジェクトJV
1	(1)管理運営に対する基本方針	60	51
	(2)市民の平等な利用の確保	60	51
	(3)要望、意見、苦情への対応	60	52
2	(1)利用者サービスの向上に関する提案	120	104
	(2)利用者の増加を図るための取り組みに関する提案	120	100
	(3)施設の設置目的の理解と課題の認識	60	50
	(4)設置目的に沿って施設の効用を最大限に発揮できる提案	240	212
3	(1)指定期間に市が提案する指定管理料に対する提案額	120	95
4	(1)人的体制の確保	60	44
	(2)職員の能力育成(研修体制)	30	24
	(3)事業計画の実現可能性(継続性、安定性)	60	56
	(4)類似施設等の営業実績	60	46
	(5)申請者の安定性、信頼性	60	47
5	(1)災害及び不審人物の対応など、危機管理に対する対応	60	50
6	(1)利用者の安全面の対応	120	111
7	(1)雇用に対する基本的な考え方	30	24
8	(1)環境に配慮した施設管理	30	25
	(2)障がい者の就労支援への対応	30	19
合 計		1,380	1,161
【参考】提案金額(単位:千円)			19,961